



北海道

しかべちょう
鹿部町

第 15 号

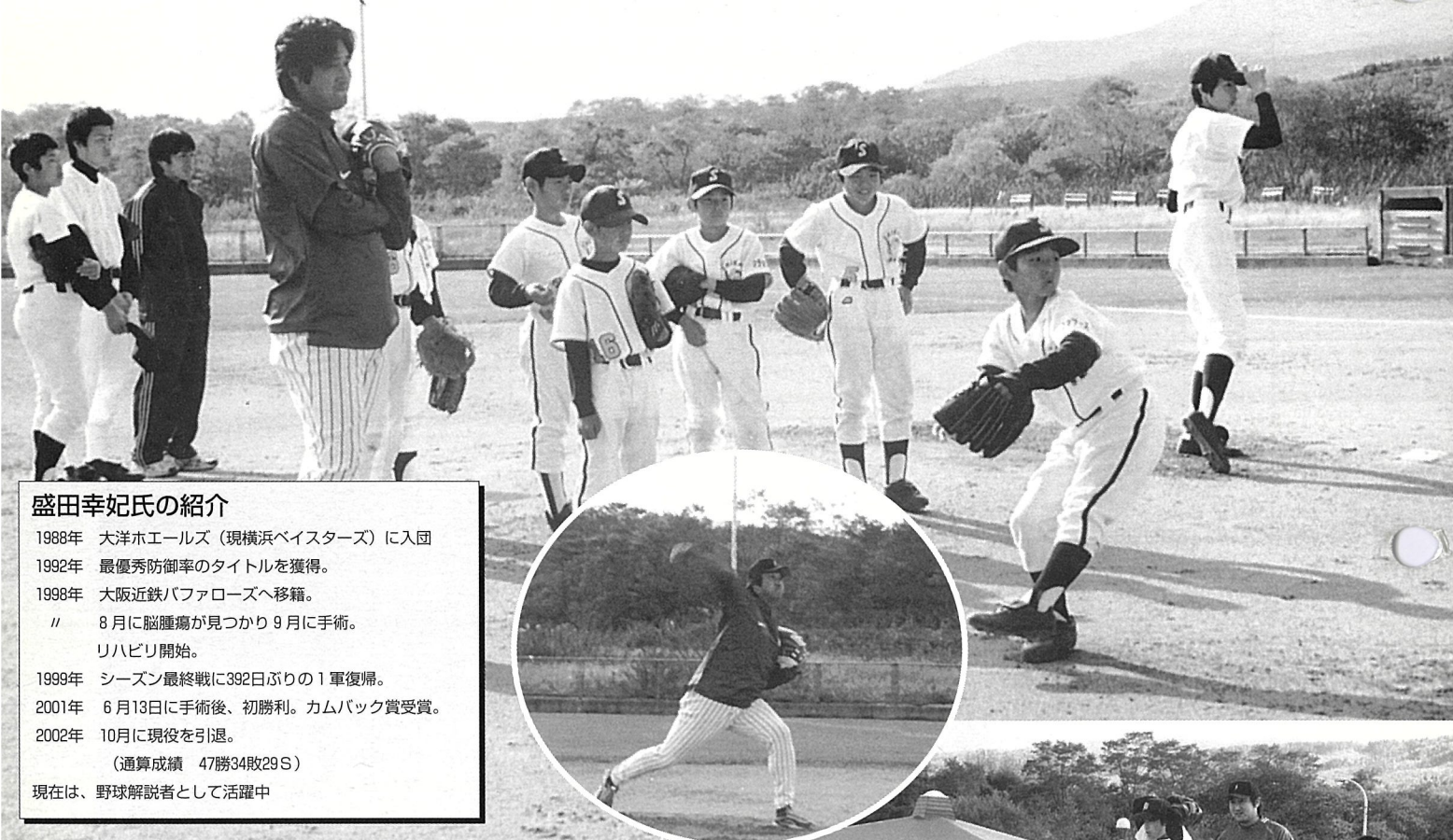
2003年10月

議会だより

10/18山村広場野球場

野球教室

～元プロ野球選手 盛田幸妃投手 が指導～



盛田幸妃氏の紹介

1988年 大洋ホエールズ（現横浜ベイスターズ）に入団
 1992年 最優秀防御率のタイトルを獲得。
 1998年 大阪近鉄バファローズへ移籍。
 // 8月に脳腫瘍が見つかり9月に手術。
 リハビリ開始。
 1999年 シーズン最終戦に392日ぶりの1軍復帰。
 2001年 6月13日に手術後、初勝利。カムバック賞受賞。
 2002年 10月に現役を引退。
 （通算成績 47勝34敗29S）
 現在は、野球解説者として活躍中

- ◆ 第三回定例会の概要 ・ 2 P
- ◆ 一般質問 ・ 4 P
- ◆ 意見書の提出 ・ 5 P
- ◆ 委員会の活動 ・ 6 P



平成15年 第3回定例会

平成15年第3回定例会は、9月17日に招集され、会期を3日間と決め、町長の行政報告のあと、一般質問を行いました。

又、議案14件を審議し、全て原案どおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

尚、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

△七飯町・鹿部町 合併協議会を設置

本町と七飯町との合併計画に関しては、本年四月に両町の事務担当者による研究会を立ち上げ、その後、六月に任意合併協議会を設立し、基本協定項目を決定したところであります。

その具体的な協議をするために地方自治法第二五二条の二第三項の規定により合併協議会（通称「法定協議会」）を設置することに賛成しました。

当町議会から、正・副議長のほか三名の議員が合併協議会の委員になっております。

なお、合併協議会での協議内容につきましては、協議会から発行される合併協議会だよりで報告されます。

【原案どおり可決】

補正予算

△一般会計

歳入歳出それぞれ四千五百四十五万九千円を追加し、予算総額を二十八億八千四百八十九万五千円とした。

内容は、鹿部バイパスに係る大岩生活改善センターの補償金収入に伴う積立金三千八百七十八万五千円、七飯町との合併推進費六百六十一万八千円の追加等である。

△国民健康保険事業勘定特別会計

歳入歳出それぞれ四万五千円を減額し、予算総額を七億三千八百八十二万四千円とした。

内容は、七飯町との合併計画により、当初予定したパソコンシステムの変更を取り止めたことによる差額分の減と、これに伴う債務負担行為の廃止である。

△介護保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ五十五万三千円を追加し、予算総額を二億四千四百九十七万七千円とした。

内容は、国保会計と同様、パソコンシステム変更の取り止めによる補正とこれに伴う債務負担行為の廃止、また、介護費用適正化対策給付金の追加交付による積立金の追加である。

【以上三件

原案どおり可決】

承認

△平成十五年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認

承認

地方自治法の規定により、

八月六日付けで専決処分したもので、内容は、渡島海区漁業調整委員会委員の補欠選挙経費八十二万九千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額を二十八億三千九百四十三万六千円とした。

同意

△鹿部町教育委員会委員の任命について

小田博久氏が、九月三十日の任期満了をもって、退任したことにより、後任として、次の方を任命することに同意した。

◎氏名「真鍋 喜寛 氏

住所「字宮浜三五三番地

の二〇



決算認定

△一般会計

△国民健康保険事業勘定特別

会計

△老人保健特別会計

△介護保険事業特別会計

△水道事業会計

以上五会計の平成十四年度決算認定については、本会議初日に全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、翌日開催した同委員会でも慎重に審査した結果、いずれの会計も認定すべきものと決定され、本会議において委員長報告がなされ満場一致で認定した。なお、各会計の決算状況は、次のとおりである。



平成14年度各会計決算状況

(単位：円)

会 計	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳 入 歳 出 差 引
一 般 会 計	3,174,096,717	3,140,075,768	34,020,949
特 別 会 計			
国民健康保険	603,208,779	599,995,535	3,213,244
老人保健	522,901,011	500,446,582	22,454,429
介護保健	193,711,834	187,605,840	6,105,994
小 計	1,319,821,624	1,288,047,957	31,773,667
水道事業会計			
収益的収支	119,948,840	89,860,537	30,088,303
資本的収支	0	39,699,063	△39,699,063

あなたも議会を
傍聴してみませんか。

～手続きは簡単です。～

傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に
住所と氏名を記入するだけです。

第4回定例会は、**12月中旬**に開
催される予定です。

議会広報研修会

八月二十一日に札幌市に
おいて、議会広報研修会が
開催され、広報紙評論家と
して活躍されている保坂政
和氏から、広報紙の作り方
の基本、見出しの付け方な
どについて説明を受けまし
た。
今後の議会だよりの編集
に活かしていきます。



一般質問

第3回定例会での一般質問は、1名の議員から1件の事項について質問がありました。

質問、答弁の趣旨をまとめ紹介します。

ホタテ付着物の処理は

(質問者)

佐藤 頼幸 議員

ホタテ付着物については、

以前は、苫小牧市まで運搬し処理されておりましたが、現在は、漁業系廃棄物リサイクル施設において処理されています。

この施設は、平成十四年十二月から稼働されていますが、処理が間に合わず、一次工程の付着物が一時堆積され、また、処理段階において、悪臭がしていましたが、次の事項について伺いたい。

①平成十三年から平成十五年各年のホタテ付着物の処理量について

②リサイクル施設稼働以前の苫小牧市までの運搬費用の内訳について(平成十三、十四年)

③漁業系廃棄物リサイクル施設の一時堆積の状況及び悪臭対策について

処理が間に合わず仮置き

(答弁者)

松本 豊勝 町長

①の平成十三年から平成十五年のホタテ付着物の処理量についてですが、十三年四月から十四年三月までは四、七九八㎡、十四年四月から十五年三月までは七、五一一㎡、十五年四月から十五年五月までは二、三九七㎡と漁協より報告を受けております。

②運搬費用の内訳についてでありますが、十三年度運搬費千五百五十五万六千六百円、防水対策費三百八十万円、積み込み代二百万円、十四年度運搬費四百八十六万六千四百円、防水対策費百八十万円、積み込み代六十六万七千円。

③漁業系廃棄物リサイクル施設の一時堆積の状況及び悪

臭対策についてであります。本施設の管理運営を行っている漁協から聴取したところを報告致します。

本施設は、日最大取扱量二〇〇㎡、月最大取扱量二、〇〇〇㎡としておりましたが、廃棄物の運びこみが三月三、三四四㎡、四月二、二八三㎡と計画数量を大幅に上回ったため一次発酵処理した物を町有地に仮置きし五月以降施設に運び順次処理したとのことであります。

次に悪臭対策であります。三月中旬に町民より役場に苦情が寄せられて調査したところ、処理の際、発酵臭の発生があることから、三月は大量



一次発酵処理後、町有地に仮置き

の処理をしたため悪臭と感じられたものと思っております。三月二〇日に施設と半径五〇〇m離れた地点の二カ所において悪臭濃度の測定を行ったところ両地点ともに環境基準規制値を下回っており、人体に悪影響を及ぼすものではないとの結論を得ております。

また、悪臭を消すため施設に木酢液の散布を行うなどの対策を講じていると報告を受けております。

何れにせよ、管理運営には万全を期するよう今後も徹底した指導を行って参りたい。

意見書の提出

議員提案により、次の意見書を可決し、
関係省庁へ提出しました。

道路整備に関する

意見書

道路は道民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、高規格幹線道路から道民生活に最も密着した市町村道に至るまで、北海道の道路網の整備は道民が長年にわたり熱望してきているところであり、中長期的な視野に立って体系的かつ計画的に整備が推進されるべきものである。

しかしながら、広大な面積を有し都市間距離も長く、自動車交通の占める割合の高い北海道の道路整備は、受益者負担という制度趣旨に則り、着実に行われているもののいまだ十分とはいえず、本道各地域の「活力ある地域づくり・まちづくり」を支援し「良好な生活環境の創造」「安全で安心できる郷土の実現」を図る上で、より一層重要となっている。

特に高規格幹線道路のネットワーク形成は、道内の「圏域間の交流・連携の強化」「地域経済の活性化」「救急医療・災害時の代替ルートの確保」さらには、我が国における「安定した食料供給基地・観光資源の提供の場」として、

その役割をしっかりと担うための最重要課題である。

よって、国においては、北海道の道路整備の実状を十分踏まえた上、引き続き、計画的かつ早期に整備が図られるよう次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

一、平成十五年度以降の五箇年間に於いて、投資規模三十八兆円を目安として、所要の道路整備費を確保することにより、長期的視点に立った道路整備を一層推進すること。

二、高規格幹線道路のネットワーク形成は国土政策の根幹にかかわるものであり、国の責任において計画的な整備を図ること。

特に、本道の高速度道路ネットワークの早期形成を図ること。

三、受益者負担という制度趣旨に則り、道路整備を強力に推進するため、自動車重量税を含む道路特定財源はすべて道路整備に充当すること。

また、道路整備が円滑に実施できるよう、地方の道路整備財源を一層充実強化すること。

北海道新幹線の建設促進を求める意見書

北海道新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、昭和四十八年に整備計画路線と決定された、いわゆる整備新幹線五路線のうちの一つであり、これまで東北各県とも連携しながら、道民挙げて建設要望活動を繰り広げてきた。

この結果、昨年一月、日本鉄道建設公団総裁から国土交通大臣に工事实施計画認可申請が提出され、着工に向けて大きな一歩が踏み出されたところである。

計画決定後三十年を経た現在、全国においては、南は鹿児島から北は青森まで整備が明確となつているにもかかわらず、北海道新幹線は全く手つかずの未着工路線となっており、国土を縦断する高速交通体系の骨格が未完成となっている。

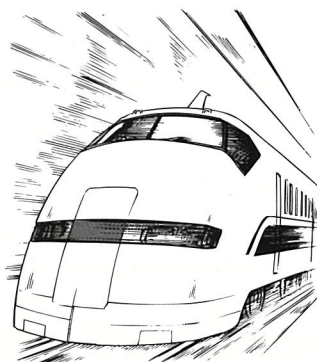
よって、国においては、国土の骨格をなし、広域的な交流や地域間相互の交流・連携強化に欠かすことのできない北海道新幹線について、全国新幹線網の必要性を十分に踏まえ、下記のとおり一日も早い着工について強く要望する。

記

一、北海道新幹線（新青森・札幌間）の全線フル規格での一日も早い着工と十年以内の完成

二、東北新幹線新青森の開業と同時に、新函館までの暫定開業

三、公共事業費の重点配分などによる建設財源の確保及び地域負担に対する財源措置の充実・強化



委員会の活動

総務経済常任委員会

所管事務調査

林道整備事業と漁場環境及び海岸線（町内一円）の状況について

【調査実施日】

平成十五年七月十五日

【調査方法】

担当者より説明を受け、現地調査実施後、質疑を行った。

【調査の結果】

昨年十月の大雨災害により、林道六カ所が現在復旧工事中であり、特に鹿部川林道及びムサワ林道の崩壊による漁場への土砂流出が懸念されていたが、現地を調査した結果、土砂の流出は確認されず、漁場への影響はないものと思われる。

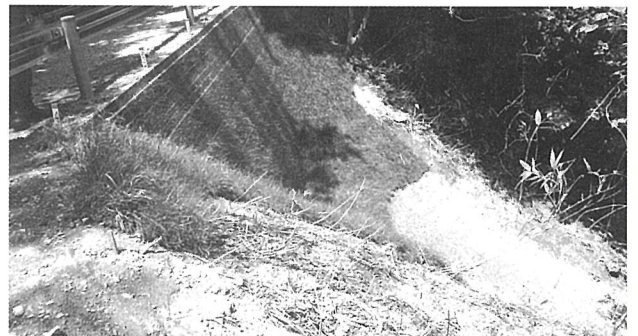
シシペ地区海岸の一部では、時化るたびに国道まで波が浸

水する状態で、既存の離岸堤での対処は困難であるが、鹿部漁港海岸までの離岸堤の設置が計画されており、設置後はこの問題は解消されるものと思われる。

本別海岸の一部（通称：森の浜）では、昨年度、波により掘削され崩壊しており、その改修工事が、平成十五年三月十八日に着工され、三〇・六mの消波堤が設置されている。

また、以前、一般質問でも取り上げられたことのある本別漁港東護岸（旧防波堤）については、現在でも、南東の風が吹くと砂が溜まる状態であり、平成十五年三月十一日に六四〇㎡砂が除去されている。

この件については、操舵室、機械室に砂が入ることにより、精密機械の故障の原因となることから、防波堤の嵩上げ等について、北海道に強く要望し早期解消を望むものである。



ムサワ林道（完了済）



鹿部川林道（完了済）



本別東護岸（旧防波堤）

民生文教常任委員会

所管事務調査

茅部地区リサイクルセンター（仮称）建設に伴う事業計画について

【調査実施日】

平成十五年七月十六日

【調査方法】

提出のあった資料に基づき、担当者より説明を受け、質疑を行った。

【調査の結果】

現在、鹿部町、森町、砂原町の三町で、茅部地区リサイクルセンター（仮称）の建設を計画している。

建設場所は、砂原町字二ツ山を予定しており、平成十三年四月に一四、二七〇㎡の土地を購入している。

施設の総事業費は、九億六千二百三十八万八千円、財源

内訳は、国庫補助金が二億三千五百五十五万五千円、地方債六億四千五百九十万円、一般財源が八千九百三十三万七千円となる見込みである。

施設は、破碎処理施設と資源化処理施設に分かれ、破碎処理施設では、不燃ごみと不燃性粗大ごみ、資源化処理施設では、缶やビン、ペットボトルなどが処理されることになる。

処理能力は、破碎処理施設が一日六トン、資源化処理施設が一日三トンとなっている。

再資源化されるものについては、品目により再資源化先を定め、缶類は近郊回収業者、びん・ペットボトル類については、容器包装リサイクル法による指定業者に運搬される。施設完成後の運転管理については、今後の検討事項となっている。

なお、工事は平成十六年九月に着工され、十七年度末に

完成、十八年四月から供用開始される予定である。

ごみ排出量の実績・推計量

(単位：t)

区 分	平成13年度	平成19年度	平成24年度
可 燃 ご み	5,767	4,725	4,396
不燃・粗大ごみ	1,646	1,492	1,441
資 源 物	364	1,045	1,160
合 計	7,777	7,262	6,997
鹿 部 町	1,713	1,717	1,726
砂 原 町	1,519	1,460	1,431
森 町	4,545	4,085	3,840



役場 大会議室にて

各委員会の閉会中の所管事務調査

各常任委員会及び議会運営委員会が十二月定例会までの閉会中に、次の事項について調査します。

◆総務経済常任委員会

一、ドジョウ養殖施設の視察について

二、海岸海浜公園整備予定地の視察について

三、町有財産の管理について

◆民生文教常任委員会

一、渡島廃棄物処理広域連合施設「クリーンおしま」の視察について

◆議会運営委員会

一、次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項について

二、議長の諮問に関する事項について

議会のうごき

7 月

- 1 日 道南地区議会議員研修会（函館市・議長外議員出席）
- 5 日 渡島消防総合訓練大会（砂原町・関係議員出席）
- 7 日 新人議員研修会（札幌市・関係議員出席）
- 15 日 総務経済常任委員会所管事務調査
- 16 日 民生文教常任委員会所管事務調査
 - ◇ 議会だより編集特別委員会
- 22 日 議員全員協議会
 - ◇ 議会だより編集特別委員会
- 24 日 監査委員より平成15年6月分の出納検査報告書を受領
- 28 日 第2回七飯町・鹿部町任意合併協議会（議長外議員出席）
- 29 日 茅部郡下三町議会議長・事務局長会議（函館市・議長、局長出席）

8 月

- 5 日 国道278号鹿部バイパス整備促進要望（函館市・議長出席）
- 10 日 国道278号鹿部バイパス整備促進要望（札幌市・議長出席）
- 14 日 成人式（議長外各議員出席）
- 21 日 議会広報研修会（札幌市・関係議員出席）
- 22 日 議員全員協議会
- 23 日 鹿部消防団夏季演習（議長外議員出席）
- 25 日 第3回七飯町・鹿部町任意合併協議会（七飯町・議長外関係議員出席）
- 26 日 渡島・檜山町村議会議長連絡会議（乙部町・議長出席）
 - ◇ 監査委員より平成15年7月分の出納検査報告書を受領
- 28 日 七飯町・鹿部町任意合併協議会先進地視察（岩見沢市・関係議員出席）

9 月

- 2 日 茅部地区衛生施設組合議会臨時会（関係議員出席）
- 4 日 北海道防災総合訓練（函館市・議長出席）
- 9 日 議員全員協議会
- 11 日 敬老会（議長外各議員出席）、議会運営委員会

編集後記

▼秋風が立つこの頃です。本格的なスケトウ漁も迫り、町民皆様も日夜多忙な日々と思います。浜が活気なくしては、町もさみしさを感じます。豊漁を願わずにはいられません。

▼ご承知のとおり、現在、七飯町との合併協議会が、月一回のペースで開催されております。この協議会は傍聴も出来ますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。（開催場所・日時等については合併協議会だよりを参照）

▼本年も残すところ二カ月余りとなりました。

委員一同、町民に親しまれる議会だよりを目指し、精一杯頑張る所存でありますので、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

◎議会だより編集特別委員会

委員長 笠原 賢
副委員長 浦 梅吉
委員 盛田 鉄次

◇ 千葉 光義
◇ 中川 一